



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」  
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



# とての かふち

《学校だより》 第10号

令和2年9月9日発行  
湯河原町立湯河原小学校  
校長 北村和裕

夏休みが明けてから2週間が経ちました。子どもたちは学校生活のリズムを取り戻し、落ち着いて学習に取り組んでいます。

熱中症が心配されましたが、各ご家庭で新たに用意していただいた色帽子を被って、体育や休み時間に外で元気に体を動かしています。右の写真のように、運動によってはけやきの木陰で行うなど、暑さ対策を工夫しながら活動しています。



けやきの木の下でなわとび

新型コロナウイルス感染症予防についても、ご家庭での検温や健康チェックなどにご協力いただきありがとうございます。

なお、お子さんの発熱等の風邪の症状がある場合は、自宅で休養するとともに、同居のご家族で同様の症状が見られる場合も欠席するようお願いします。その場合は、出席停止扱いになります。

## 地域の方の温かな見守り

本校の学区は広く、大きな交差点もたくさんあります。ですから、子どもたちの登下校について、交通事故に遭わないか、事件に巻き込まれないかを常に心配しています。しかし、強い味方がいます。それは、オレンジのベストを着た「湯小見守り隊」や黄色いたすきを肩から掛けた「交通安全母の会」の方々です。交通量の多いところや横断歩道のところで、子どもたちの安全を見守ってくださっています。時には、見守り隊の方から学校にこんな電話もあります。「1年生の子がお母さんと待ち合わせをしているのに、お母さんが来なくて困っていますよ。学校からお母さんに連絡をとってあげてください。」というものでした。安全面だけでなく、子どもの困っていることに対して素早く適切に対応してくださり、本当に頭が下がる思いです。これからも、地域の方の温かなまなざしで、子どもたちを見守っていただくよう、よろしくお願いします。



## 人を思う気持ち、優しさを大切に！

新型コロナウイルスの感染症予防については、保護者の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら進めているところです。しかし、取り組みを徹底しても感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。

先日、湯河原町教育委員会から出された「児童・生徒などが新型コロナウイルス感染症に感染した場合等の対応について」の文書を配付させていただきました。本校の児童等が感染した場合の各家庭での対応についてご協力をよろしくお願いします。さらにもう1つお願いがあります。それは感染者に対する偏見や差別、誹謗中傷等を許さないということです。誰もが感染する可能性があるのですから、感染者を責めるのではなく、衛生管理を徹底し更なる感染を防ぐことが大切です。また、身の回りに差別等につながる発言や行動があったときは、それに同調せずに「そんなことはやめよう。」と声をあげていただきたいのです。

「人への偏見や差別」ではなく「人への優しさや思いやり」をもって、新型コロナウイルスとの闘いを乗り越えていきましょう。